

株式会社 Epic Entertainment

HP : <https://www.epicenter.tokyo/>

紹介動画を見る ▶

団体概要

2020年に障がい者サーフィン世界1位の姉(内田一音)と、フラダンス世界2位受賞の妹(堀江のりこ)で会社を興しました。現在は北京パラリンピック自転車競技金メダリストの石井雅史も所属し、フラダンスからスポーツ(特に水泳と自転車)まで幅広くその体験と知識を広める活動をしています。部活動ではフラダンスと水泳を、講演では昨今のヘルメット問題も絡めた自転車社会の現状や、障がい者がいかに世界大会で活動するかをお伝えします。

支援対象

小学校/中学校/高等学校/特別支援教育/
その他:PTA・教職員研修等(PTA・校長会・教職員研修の経験あり)

活動内容・活動状況

○放課後フラダンス

現在は台東区内の小学生で放課後教室と題して、主に低学年に放課後フラダンスを教えています。45分程度で月2回。準備運動も併せて1時間程度。コロナ禍だったこともあり、参加者は体育館の半分の広さで25名程度。また半年に一度、保護者や友人、教職員へ向けての小さな発表会【2~3曲程度】を行っています。



対応可能時期

日程が合えば随時可能

必要経費

謝金および交通費

会場・定員・必要備品等

フラダンスはCDデッキ。裸足で踊るので事前準備は不要です。

担当者より一言

スポーツ振興とエンターテインメントを主な活動としているため、この2つを柱とし、いかに楽しく子供たちに伝えるかをつねに意識しています。

<https://www.epicenter.tokyo/>

○北京パラリンピック金メダリストからの安全な自転車の乗り方の実技等
自転車通学も多い中学生や高校生に向けて、安全な自転車の乗り方、いかにヘルメットが大事かを選手の実体験をもとに説明をして理解を深める。また、北京パラリンピックをはじめ数々の大会で獲得した金メダルを実際に触れてもらい、その重さや大会の裏話をお話しています。(所属する石井雅史は競輪選手時代に自宅近辺の山中にて街道練習(ロードワーク)中に乗用車と正面衝突し、びまん性軸索損傷となりましたが、その後リハビリをして北京パラリンピックに出場しています)

※写真は中央区および小田原市の中学校での講演の様子



○障がい者サーフィン世界大会優勝者による、障がい者と海の付き合い方
2年連続障がい者サーフィン世界大会(アダプティブサーフィン)優勝の快挙を成し遂げた背景や、世界の障がい者と海の関係をお話します。なかなか長い砂浜を歩くことが出来ない障がい者にとって、海がいかに遠い存在か、それをサポートするために世界はどのように対応しているのか、なぜ東京パラリンピックでサーフィンが認められなかったのか、また海で安全に遊ぶための注意点等を講演しています。(所属する内田一音は生まれつき動関節可動域制限や四肢欠損症などの障害があります)

※写真:湘南地区において海の家を作る際の障がい者への配慮が必要なことを説明している講演時のもの

